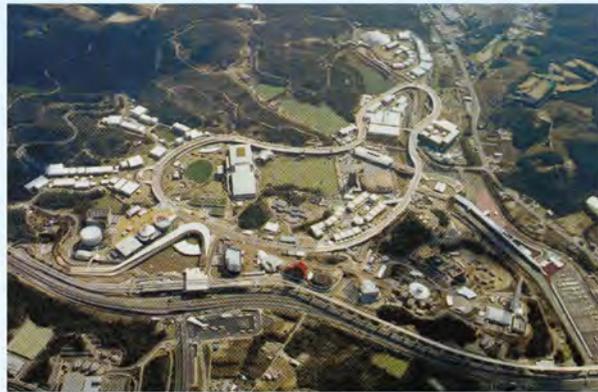


愛・地球博記念館のあらまし



21世紀最初の国際博覧会「2005年日本国際博覧会（略称:愛知万博、愛称:愛・地球博）」は、「自然の叡智」というテーマのもと、人類が直面する地球規模の課題を解決するための方向性と人類の生き方を発信するため、121カ国、4国際機関を始め、市民、NGO/NPOなど多様な参加を得て開催され、国内外から高い評価を得て、2005年9月25日、大盛況のうちに幕を閉じました。

この「愛・地球博記念館」は、博覧会の開催を記念し、博覧会の感動を呼び起こすとともにその理念と成果を後世に伝え、未来へとつなげていく施設として、会期中は迎賓館・レセプションホールであった建物を活かしてつくられました。

当記念館を通じて、博覧会の記憶が皆様の心の財産として生き続けますことを、そして愛・地球博から発信された様々なメッセージが語り継がれ、さらに発展していきますことを願っております。

スタンプ欄

愛・地球博記念館ご案内

■入館料 無料

■開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)
春休み・夏休み・冬休み期間中は火曜日も利用できます。
年末年始(12月29日~1月1日)は閉園します。

■交通アクセス

電車・バスで

- 地下鉄東山線「藤が丘(H22)」-乗り換え-
東部丘陵線(リニモ)「愛・地球博記念公園(L07)」下車
- 愛知環状鉄道「八草(18)」-乗り換え-
東部丘陵線(リニモ)「愛・地球博記念公園(L07)」下車
- 名鉄バス「尾張瀬戸駅前」から愛・地球博記念公園行に乗車
「愛・地球博記念公園駅」下車(土・日・祝)のみ
- 近距離高速バス「名鉄バスセンター」から
「愛・地球博記念公園(ジブリパーク)」下車
- 空港バス「中部国際空港」から
「愛・地球博記念公園(ジブリパーク)」下車

お車で

- 東名高速道路・日進JCTから分岐して名古屋瀬戸道路へ
長久手インターから一般道路を東に約2km
- 東海環状自動車道豊田藤岡インターから
猿投グリーンロードを西に約9km
- 国道155号から八草交差点を西に約1.5km



2023年12月改訂

■問い合わせ・連絡先

(公財)愛知県都市整備協会 愛・地球博記念公園管理事務所
〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1
TEL:0561-64-1130 FAX:0561-61-2150

愛知県尾張建設事務所

〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
TEL:052-961-7211(三の丸庁舎代表)

愛・地球博記念館

語り継いでゆく
愛・地球博のメッセージ



キッポロ モリゴロ ©GISPRI

あの感動に、もう一度出会える場所。



4 アーカイブ

万博Q&Aで、愛・地球博について学びましょう。また、愛・地球博記念館の収蔵品の情報も検索できます。「モリゾー&キッコロ100の世界」の絵画も展示されています。



3 貴賓室

愛・地球博の会期中、国内外の賓客をお迎えした貴賓室を、その当時のままご覧いただけます。



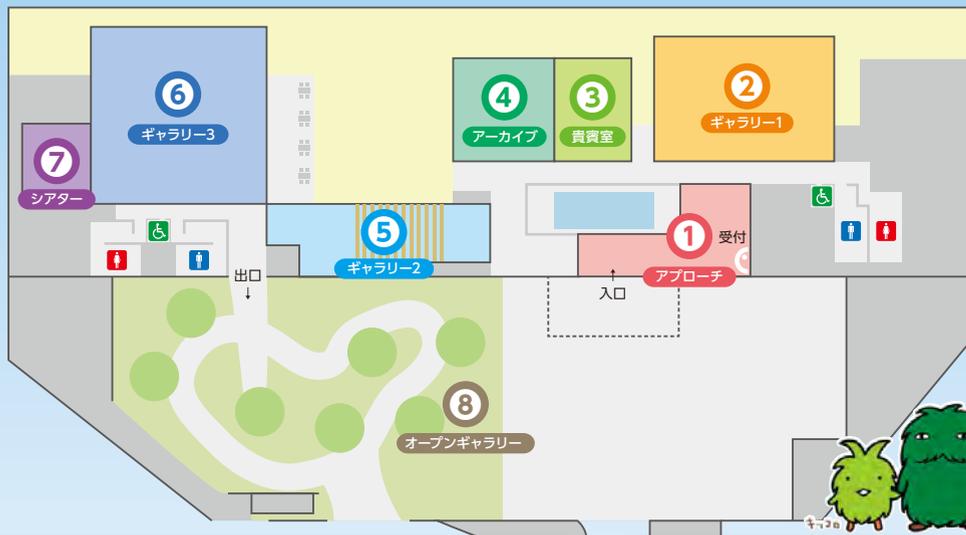
2 ギャラリー1

愛・地球博の公式参加国などから寄贈を受けた展示品が、6つのテーマ（「敬」「匠」「恵」「彩」「奏」「創」）に分かれて展示されています。



5 ギャラリー2

愛・地球博開幕から閉幕までの185日間を振り返ります。愛・地球博への愛知県の取り組みの紹介のほか、財団法人2005年日本国際博覧会協会から寄贈された愛・地球博記念レリーフが展示されています。



1 アプローチ

感動の185日の第一歩、愛・地球博開幕の様子を知ることができます。総合案内もあります。



6 ギャラリー3

愛・地球博では公式参加国・国際機関がグローバル・コモンと名づけられた6つのエリアに分かれて出展しました。ここでは、寄贈を受けた展示品をグローバル・コモンごとに展示しています。他にも、博覧会会場で実際に使われていたものが、たくさん展示されています。



7 シアター

愛・地球博の映像を大画面で見られる映像シアターです。壁面には、公式参加国が掲げた出展テーマが書かれています。



8 オープンギャラリー

グローバル・ループをかたどった小道の真ん中では、モリゾー・キッコロがお待ちしています。グローバル・コモンにあたる休憩スペースには公式参加国の地図があり、一市町村一國フレンドシップ事業でその国をおもてなしした、愛知県内の市町村名（2005年9月25日現在）も表示されています。

